

平成25年度6月補正予算の概要

平成25年6月萩市議会定例会

平成25年6月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計ごとの補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（全 17 事業 うち新規 12 事業）、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計（全 1 事業）及び休日急患診療事業特別会計（全 1 事業）の 3 会計です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	補正予算額
一般会計	第 3 号	1 億 1,257 万 1 千円
国民健康保険事業（直診勘定）特別会計	第 2 号	275 万円
休日急患診療事業特別会計	第 1 号	174 万 4 千円

※今回の補正は、3 会計で全 19 事業（うち新規 12 事業）

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、いわゆる骨格予算であった当初予算に政策的経費や臨時的経費の追加計上等を行った 4 月補正予算編成時以降、新たに国県等の補助採択のあった事業、第一次産業振興のために必要不可欠な事業、ふるさと振興のための寄附を受けたことから寄附者の意向に沿って実施する事業、災害発生時に通信手段を確保する防災対策事業等、市勢の発展及び市民の生命・財産を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
316 億 6,847 万 9 千円	1 億 1,257 万 1 千円	317 億 8,105 万円

※今回の補正は、全 17 事業（うち新規 12 事業）

3. 歳出予算の主な事業内容

■本庁舎外壁等改修事業（182万4千円）

【予算説明書 10 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

4月補正予算に計上した一般財源による本庁舎外壁断熱パネル取付工事が、省エネ改修促進を図る国の緊急経済対策事業の採択を受けました。

この事業採択の条件として、エネルギー消費量を計測して国へ報告する必要があるため、エネルギーモニターを設置を行います。

なお、財源については、国の補助金を原資として、事務事業者である独立行政法人から歳入を受け入れます。

事業内容：本庁舎の電気使用量を計測するエネルギーモニターの設置

[財源内訳] 雑入 2,329万8千円（独立行政法人建築研究所からの助成）
一般財源 △2,147万4千円（4月補正予算計上額の一般財源の減額）
※参考：4月補正予算の概要 P7 下段

■＜新規＞コミュニティ助成事業（490万円）

【予算説明書 10 ページ 地域振興費】
（担当課：市民活動推進課）

地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（コミュニティ活動に直接必要な備品等の整備）の助成団体として採択を受けた市内コミュニティ組織に対し、市が歳入を受け入れ、同額を補助金として各団体へ支出します。

事業内容：○大井地区連絡協議会
ワイヤレスアンプ・スピーカー・マイクの購入ほか
○田万川ふるさとづくり協議会
紙折機、会議用テーブルの購入ほか
○旭地域コミュニティ協議会
展示用ショーケース、折りたたみテーブルの購入ほか

[財源内訳] 雑入 490万円（財団法人自治総合センターからの助成）

■＜新規＞難聴者集団補聴装置購入事業（270万円）

【予算説明書 10 ページ 障害者福祉推進費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、財団法人自治総合センターが実施する共生の地域づくり助成事業（全ての住民にやさしいまちづくりを進めるための事業）の採択を受けたことから、携帯型の補聴器を補助する放送設備を購入し、難聴者等が各種講演会・説明会へ参加しやすい環境を整備します。

事業内容：本庁及び各総合事務所に携帯型の補聴器を補助する放送設備（磁気誘導ループシステム）を7セット整備し、各種講演会・説明会の主催者への貸出し等を行うもの

〔財源内訳〕 雑入 270万円（財団法人自治総合センターからの助成）

■＜新規＞生活保護電算システム改修事業（89万3千円）

【予算説明書 11 ページ 生活保護総務費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

平成25年8月1日から施行される生活保護費（生活扶助基準額）の見直しに伴い、必要となる生活保護電算システムの改修を行います。

なお、生活扶助基準額の見直しは、平成25年8月から段階的に実施され、現行の基準額からの改定幅は10%が限度となるよう3年程度かけて調整が行われます。

歳出内容：電算システム改修業務委託料

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 89万3千円

■＜新規＞漂流・漂着ごみ一掃事業（390万2千円）

【予算説明書 12 ページ 減量推進費】
（担当課：環境衛生課）

国の緊急経済対策により、山口県が平成 24 年度末に積増しを行った海岸漂着物地域対策推進基金を活用し、市内の海岸や港湾に漂着したごみを回収・処理し、環境保全と景観再生を図ります。

実施時期：平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月

事業内容：○萩地域は、業者委託により、重点海岸（三見海岸、青長谷海岸、虎ヶ崎周辺海岸、大井周辺海岸）と港湾を週 2 回程度巡回し、漂着ごみの収集・運搬を行う。
○須佐・田万川地域は、住民ボランティアが回収した漂着ごみの収集・運搬を年 2 回程度行う。

処理予定量：36 トン

歳出内容：漂流・漂着ごみ収集運搬業務委託料 211 万 7 千円
漂流・漂着ごみ焼却処分業務委託料 178 万 5 千円

[財源内訳] 衛生費県委託金 390 万 2 千円

■新規就農総合支援事業（283万円）

【予算説明書 12 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

農業従事者の高齢化が進み、農業の継続が困難となってきたことから、若い新規就農者を増加させる必要があります。そこで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、所得を補てんする給付金を給付します。

なお、今回の補正は、当初予算編成時から新規就農者が増加したため、予算を追加計上します。

事業内容：○青年就農給付金（準備型）

就農前の研修期間である2年間について、研修生及び指導者に給付金を支給します。

・研修生：月額15万円を支給

（市1万2,500円、県1万2,500円、国12万5千円）

負担割合：市1/12、県1/12、国5/6

※国費は市の会計を通らず、直接研修生へ支給されます。

当初予算計上額 432万5千円（10人分）

市費216万3千円 県費216万2千円

今回追加補正額 70万円（4人分）

市費35万円 県費35万円

・指導者（法人・認定農業者）：月額6万円を支給

（市3万円、県3万円）

負担割合：市1/2、県1/2

当初予算計上額 636万円（9組織分）

市費318万円 県費318万円

今回追加補正額 138万円（4組織分）

市費69万円 県費69万円

○青年就農給付金（開始型）

経営が不安定な就農直後5年以内の所得を確保するため、農業者に給付金を支給します。

・農業者：月額12万5千円を支給

負担割合：国10/10

※国費は市の会計を通し、農業者へ支給されます。

当初予算計上額 450万円（3人分）

今回追加補正額 75万円（1人分）

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 179万円
一般財源 104万円

■＜新規＞需要対応型産地育成事業（1,191万9千円）

【予算説明書 12 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

意欲ある農事組合法人等が産地の核となり、消費者の需要に的確に応える「生産力の高い、安心・安全な産地づくり」を推進するため、必要な栽培機械等の導入を支援します。

支援対象となる機械について、米・麦・大豆等の「主穀」と野菜等の「園芸」の2種類の栽培用機械があり、それぞれ市と県の負担割合が異なりますが、実施主体は1/2の負担割合となります。

なお、この事業は、平成24年度で終了した「やまぐち集落営農生産拡大事業」に代わり、新たに「需要対応型産地育成事業」として創設されました。

＜主穀＞

事業内容：○農事組合法人 木間の郷^{さと}
乗用管理機 1台
○農事組合法人 かわかみ
乗用管理機 1台
○農事組合法人 羽賀台共同生産組合
乗用管理機 1台
負担割合：県 1/2、実施主体 1/2

＜園芸＞

事業内容：○J Aあぶらんど萩
野菜播種機 1台 加温ボイラー 1台
○農事組合法人 京場^{きょうば}
野菜播種機 1台
○農事組合法人 羽賀台共同生産組合
野菜播種機 1台
負担割合：市 1/6、県 1/3、実施主体 1/2

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 1,100万4千円
一般財源 91万5千円

■＜新規＞サル捕獲隊緊急養成事業（714万円）

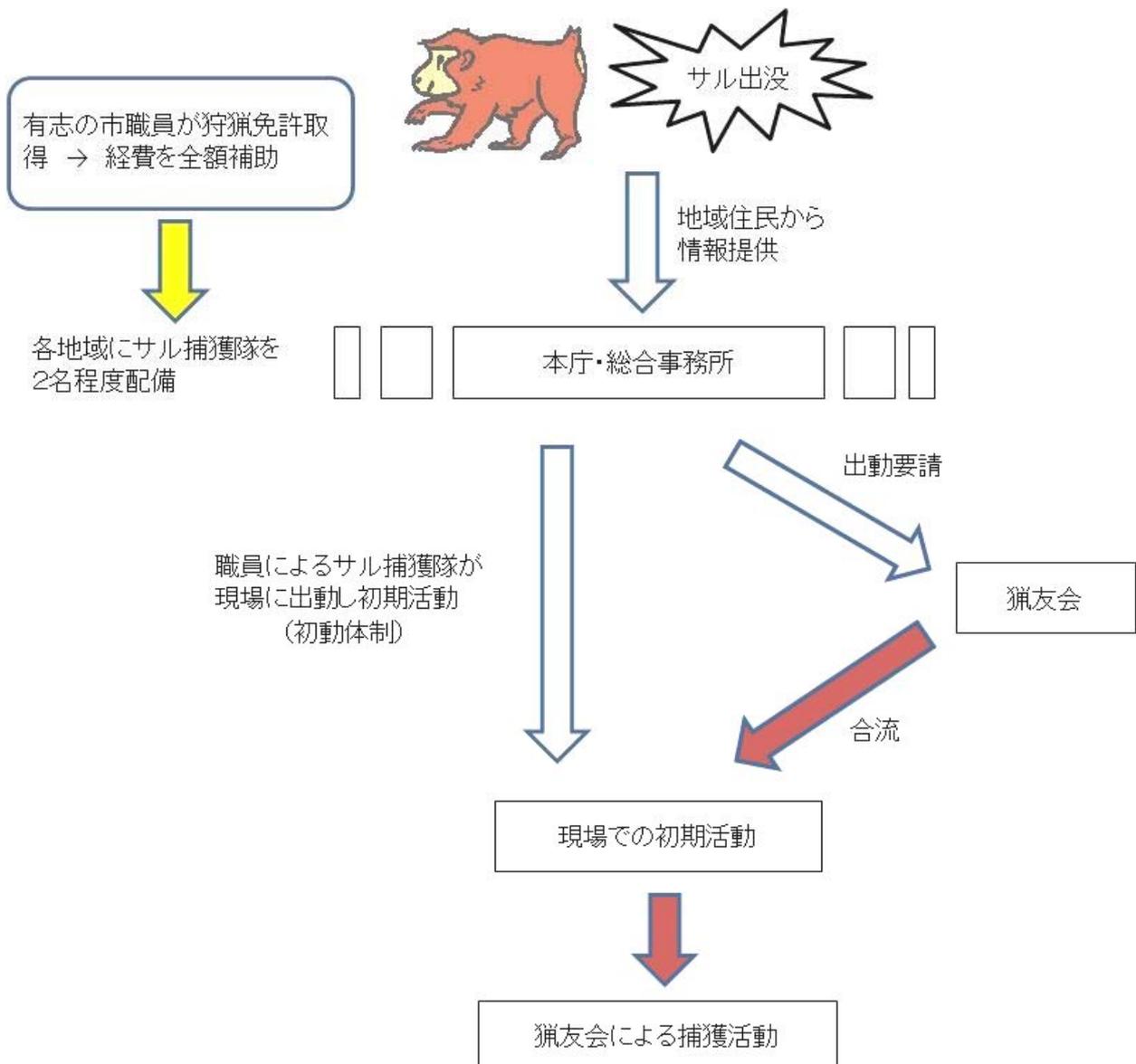
【予算説明書 12 ページ 農業振興費】

（担当課：農政課）

人里に出没するサルによる被害に迅速に対応するため、市職員によるサル捕獲隊を編成し、捕獲の初動体制を確立します。

- 事業内容：○第一種銃猟免許・わな猟免許を取得し、サル捕獲隊となった市職員に対し、免許取得・更新及び銃器所持・更新に係る経費を補助
○各地域にサル捕獲隊を2名程度配備予定（2名×7地域14名）
○試験や手続きの関係で、活動がスタートするのは平成26年3月以降の予定

〔財源内訳〕 一般財源 714万円



■＜新規＞田万川地域ふるさと農道緊急整備事業（825万円）

【予算説明書 12 ページ 農地費】
（担当課：農政課）

田万川地域の^{よしがはら}下小川吉ヶ原地区の^{ともが}市道友信線において、県内最大規模の畜産団地への進入ルートの確保、農畜産物の流通の効率化及び地域住民の交通の利便性を図るため、道路改良を行います。なお、県が実施する事業であり、県へ負担金を支出します。

実施主体：山口県

総事業費：約 7 億 5,000 万円、うち萩市負担額は約 1 億 1,250 万円

事業期間：平成 25～29 年度

負担割合：市 15%、県 85%

平成 25 年度の県事業費：5,500 万円、うち萩市負担額は 825 万円

歳出内容：県工事負担金（調査設計）

[財源内訳] 市債 820 万円
一般財源 5 万円

■＜新規＞森林整備加速化団地整備事業（1,997万8千円）

【予算説明書 13 ページ 造林費】
（担当課：林政課）

萩市と阿武町で構成する萩地域農林業・農山村振興協議会が平成 25 年 3 月末に策定した「萩地域農林業・農山村再生実行計画」において、農山漁村資源の回復・増大を図るための具体的な取組として、森林整備加速化団地を下記のとおり設定し、施業の集約化、路網の整備、高性能林業機械の導入による低コスト間伐をモデル的に実施します。

設定団地：むつみ地域高俣地区

団地面積：519.44ha

計画期間：平成 25～28 年度

設定要件：毎年 30ha の搬出間伐の義務づけ
（市有林、私有林等を含む）

事業内容：○林内作業路開設 延長 2,000m 道幅 3～4m
○搬出間伐 30ha

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 1,336 万 3 千円
一般財源 661 万 5 千円

■消費者行政活性化事業（94万1千円）

【予算説明書 13 ページ 消費生活改善費】
（担当課：市民活動推進課）

消費生活相談の広範化、複雑化が進む中、住民の安心を確保していくためには消費者行政の充実・強化に早期に取り組む必要があります。

このたび、山口県消費者行政活性化基金の積増し・拡充（補助率 1/2⇒10/10）が行われたため、この基金を財源として予算を追加し、より一層の消費生活相談体制の充実、消費者教育の推進を図ります。

- 事業内容：○消費者教育を推進するため、消費者セミナーの開催やパンフレット等の作成・配布
○市内の中学校等を訪問し、紙芝居等による出前講座を実施

〔財源内訳〕 商工費県補助金 237万1千円
一般財源 △143万円（当初予算計上額の一般財源の削減）
※参考：当初予算の概要 P22 下段

■＜新規＞須佐湾石碑移転事業（50万円）

【予算説明書 14 ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

現在、須佐地域入江地区にある「名勝及び天然記念物須佐湾」の石碑について、須佐地域出身者で東京在住の2名の方から、寄附金による移転の申し出があったため、観光客が多く訪れ、PR効果のあるホルンフェルスの遊歩道入口周辺への移転を行います。

〔財源内訳〕 総務費寄附金 50万円



入江地区にある現在の石碑▲

■＜新規＞水槽付消防ポンプ自動車更新事業（4,145万9千円）

【予算説明書 14 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

平成5年2月に萩市消防署に配備した水槽付消防ポンプ車は、ポンプ能力の低下等、老朽化が激しいことから、国の緊急消防援助隊設備費の補助事業を活用し、更新を行います。

事業内容：水槽付消防ポンプ車の購入 1台

〔財源内訳〕 消防費国庫補助金 1,027万3千円
消防費負担金（阿武町負担金） 311万8千円
市債 2,790万円
一般財源 16万8千円

■＜新規＞避難施設特設公衆電話設置事業（37万5千円）

【予算説明書 14 ページ 災害対策費】
（担当課：防災安全課）

NTT 西日本は、災害発生時の通信手段の確保を図るため、屋内避難施設への「特設公衆電話回線」の設置を推進しており、NTT 西日本と連携し、萩市内25か所（予定）の避難施設に「特設公衆電話」を設置します。なお、費用負担は、配線工事についてはNTT 西日本が負担し、電話機、配管等の設備費用を市が負担します。

特設公衆電話回線設置箇所（予定）

萩地域：萩東中学校体育館、萩西中学校体育館、椿東小学校体育館、
漁協越ヶ浜支店、椿西小学校体育館、白水会館、三見小中学校体育館、
大井公民館、漁協大井湊支店、漁協大井浦支店、大島中学校体育館、
相島小中学校体育館、見島ふれあい総合センター、見島体育館

川上地域：川上中学校体育館

田万川地域：田万川コミュニティセンター、小川コミュニティセンター

むつみ地域：むつみコミュニティセンター、むつみB&G海洋センター

須佐地域：須佐公民館、弥富交流促進センター

旭地域：旭マルチメディアセンター、旭活性化センター

福栄地域：福栄コミュニティセンター、紫福支所

〔財源内訳〕 一般財源 37万5千円

■＜新規＞博物館資料データベース化事業（102万6千円）

【予算説明書 15 ページ 博物館費】
（担当課：萩博物館）

萩博物館は、藩政期や幕末維新时期等の歴史資料、萩ゆかりの美術資料、萩地域に伝わった民具等の生活文化資料や古写真資料、萩地域に生息する昆虫等の陸上生物や魚類・貝類等の海洋生物の標本資料を収蔵しています。

平成 26 年 11 月の萩博物館開館 10 周年に向けて、これらの膨大な資料を整理し、データベース化することによって、幅広い博物館利用者に情報を提供するとともに、展示等に活用して広く情報を発信します。

事業内容：臨時職員 1 名を雇用し、博物館にある膨大な資料を整理し、目録を作成し、データベース化を行う。

[財源内訳] 雑入 102 万 6 千円

■ 国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、須佐地域住民の健康、医療、福祉の向上を図るため、須佐診療センターの診療再開に向けて、必要な経費の補正を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7億4,427万円	275万円	7億4,702万円

※今回の補正は、全1事業

3. 歳出予算の事業内容

■ 須佐診療センター診療再開事業（275万円）

【予算説明書 22 ページ 一般管理費】
（担当課：地域医療推進課）

平成25年9月からの須佐診療センターでの診療再開に向け、施設調査点検費用や運営費等について、4月補正で予算計上していますが、その後、施設調査点検の結果を受け、必要となった空調設備、衛生設備、給湯設備の修繕等を行います。

診療開始：平成25年9月から

診療日時：隔週土曜日 午前9時～午後1時 ※予約制

歳出内容：○修繕料 50万円
○設計監理業務委託料 25万円
○須佐診療センター改修工事 200万円

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 275万円

■ 休日急患診療事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、医療の充実を図るため、休日急患診療センターの歯科診療について、口腔外科等の患者の診療を可能とするため、必要な経費の補正を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
6,460 万円	174 万 4 千円	6,634 万 4 千円

※今回の補正は、全 1 事業

3. 歳出予算の事業内容

■ 休日急患診療センター歯科診療事業（174 万 4 千円）

【予算説明書 29 ページ 一般管理費等】
（担当課：地域医療推進課）

平成 25 年 10 月から運営を開始する休日急患診療センターの歯科診療について、当初の予定では菟市歯科医師会の医師が担当し、午前 9 時から正午まで診療を行う予定でしたが、口腔外科も診療が可能となるよう山口大学医学部の協力を得て、診療時間を延長し、救急患者に加え、口腔外科分野の診療も行います。

診療開始：平成 25 年 10 月から

歯科診療日時：日曜日・祝日・年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）
午前 9 時から正午、午後 1 時～午後 3 時

歳出内容：○臨時職員の雇用（歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名） 167 万 4 千円
○医薬材料費 7 万円

〔財源内訳〕 診療報酬収入等 56 万円
一般会計繰入金 118 万 4 千円